



みつけた!



市を見守り続けている 市役所のマツ

市役所には、クロマツが58本、アカマツが24本と、マツがたくさん生えています。その中には、幹の周りが2.5mを超える太いマツがあります。

市役所の庁舎は、豊川海軍工廠の海軍将校の宿舎跡地にあります。爆弾がこの辺りに落ちなかったため、現在も市役所にはマツが残っています。これらのマツは、その昔、本野が原の原野に自生し、住民の生活のため木炭などにも利用されてきました。木炭には、使いやすい30cm程度の木が適当だったため、戦後間もない時期には樹齢30年から40年のマツを用いていたそうです。現在、幹の周りが1.5mから2.0mのものは、おそらく樹齢100年を超えていることでしょう。

市役所のマツは、本野が原の面影を残しつつ、現在も訪れる人たちへ木陰の提供、やすらぎ、ゆとりをもたらせています。マツは、大気汚染物質のろ過、防塵、防音などの効果もあるそうです。

戦争も伊勢湾台風も知っているマツが市役所にあることを知らない方も多いのではないのでしょうか。

